

令和5年度第1回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録

日時 令和5年5月25日（木）午前9時30分～11時30分

場所 多摩市役所 西第1会議室

出席 えほんの会、おはなしチャチャチャ、コアラ文庫、The Witches、多摩おはなしの会、
多摩市文庫連絡協議会、つくしんぼ文庫、布の絵本サークル ピエロ、もりの文庫

欠席 ひなたぼっこ

開会

（事務局）

（資料の確認）

（事務局）

- ・4月に組織改正があり、これまでの「子ども読書支援係」という名称が、「企画運営担当2」に変更となった。
- ・担当業務は、子どものみでなく若者を含めた、若い世代の読書振興となり、これまで「企画運営係」で行っていた団体貸出、学校の支援等もこの係の担当となった。

1 令和4年度第4回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録（案）の確認

（会長）

- ・特に意見がないため、確定とする。

2 報告事項

（1）新委員の紹介について

（事務局）

- ・市民ボランティア連絡会委員の募集を3月に行ったところ、これまでも図書館で活動していただいている The Witches さんから申込があり、この度新委員として加わっていただくこととなった。
- ・推進連絡会、庁内連絡会、小・中学校連絡会についても、人事異動等で委員に変更がある。

（新委員自己紹介）

(2) 令和5年度子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）に対する文部科学大臣表彰について（つくしんぼ文庫）

（事務局）

- ・この度、つくしんぼ文庫が文部科学大臣表彰を受賞した。4月23日に表彰式があり、代表者が出席した。

（コアラ文庫、もりの文庫）

- ・つくしんぼ文庫が活動している聖ヶ丘図書館をはじめ、表彰状をぜひ各館で順に展示してもらえよう取り計らってほしい。

(3) 令和4年度第三次多摩市子どもの読書活動推進連絡会等の開催状況について

（事務局）

（資料に沿って説明）

（コアラ文庫）

- ・推進連絡会、庁内連絡会、小中学校連絡会については書面開催とあるが、文書のみでのやり取りということか。ズーム等を使用してのオンライン会議ではないということか。

（事務局）

- ・そうである。昨年度はコロナ禍が収まりきらない状況であったことと、オンライン会議を含めた時間の決まった会議であると委員全員の参加が難しいことから、書面開催という方法をとった。書面開催は、事務局が作成した資料を一定期間内で委員が確認し、意見を出すという形式である。コロナ禍も収束してきているので、今年度からは対面で行う予定である。

（文庫連絡協議会）

- ・推進連絡会、庁内連絡会、小中学校連絡会の議題については報告があるが、それだけでは議論の内容まではわからない。そのため、この会議内だけでの議論になってしまっている。

（多摩おはなしの会）

- ・4つの連絡会で連携が取りにくいという第三次計画の会議の仕組みの欠点は、計画策定時から指摘している。新しい計画ではこの点を改善してほしい。

- ・市民ボランティア連絡会の要点録を、他の3つの連絡会でも配付してほしい。そうでないと、この連絡会でどんなことが議論されたのか、他の連絡会に伝わらない。

(4) 令和4年度各館おはなし会の実績について

(事務局) (資料に沿って説明)

(会長)

- ・この結果を踏まえ今後に繋げていきたい。

(5) 令和4年度子どもの読書活動に関する事業(実績)について

(事務局)

(資料に沿って説明)

(コアラ文庫)

- ・ほんとにフェスタのグリナード永山での展示では、来場者数をカウントすることは難しいか。少ない職員数では難しいかと思うが、事業を行うのであればきちんと実績を記録することが重要だと感じる。

(事務局)

- ・現在の職員のみでの体制で行うのは難しい。当事業が始まってから4、5年の間はボランティアの方にご協力いただき来場者数をカウントしており、どの程度来場者がいるのかということがわかったため、その時点で来場者数のカウントは終了とした。

(えほんの会)

- ・8月の講演会「図書館が日本を救う！！～図書館は本だけではない～」は中学生以上が対象ということだが、中学生の参加者は何人いたのか。

(事務局)

- ・中学生、高校生の参加者はいなかった。

(コアラ文庫)

- ・中高生の参加を促すには学校図書館司書の方に協力してもらうことが必要だと感じる。例えば、まずは図書委員の子に個別の声掛けをするなど。

(もりの文庫)

- ・児童館等へ出張おはなし会は、今後どう繋がっていくのか気になっている。参加したボランティアの間でも話題になっている。

(事務局)

- ・アンケートの集計はほぼ終了している。次回の連絡会で報告する。
- ・出張おはなし会は参加者の感触もよく、児童館、ボランティアの方からも続けていきたいとご意見をいただいている。図書館としても続けていきたい。今年度のスケジュールの具体的な部分は今後決定していく予定である。

(多摩おはなしの会)

- ・令和4年度実績報告の資料に出張おはなし会について記載がないので、記載すべきである。
- ・ボランティアへのフィードバックを速やかに行ってほしかった。当事業の実施方法についても、ボランティア内では既に肯定的な意見だけではなく様々な意見が出ている（「図書館の出張おはなし会というより、ボランティアの出張おはなし会ではないか」等）。

(もりの文庫)

- ・アンケート集計や報告の作成に時間がかかるのは承知している。しかし、現場では日々時間が進んでおり、せっかく機運が高まったのに逃してしまうのはもったいない。もう少しタイムリーなフォローをしてもらえると良い。

(布の絵本サークル ピエロ)

- ・たまっこで実施した「布のえほん会」のことも資料に記載があるとよい。

(事務局)

- ・「布のえほん会」は今年度も実施したいと考えている。たまっこと調整をする。

(6) 令和5年度子どもの読書活動に関する事業（主なもの）について

(事務局)

(資料に沿って説明)

(コアラ文庫)

- ・講演会「そうだったのか！？天気予報」に参加可能なのは子どもだけか。

(事務局)

- ・参加は子どもだけである。保護者席は用意していない。

(コアラ文庫)

- ・企画運営担当2が担当する以外の事業等も、ホームページやたま広報への掲載前にこの会議で事前に告知・情報共有してもらえると良い。

(多摩おはなしの会)

- ・3月末に活動室等の有料化についての文書が送られてきたが、送り先の基準について知りたい。すべてのおはなし会団体に行き渡っていないようだ。これらのことについて、子どもの読書推進を担当する企画運営担当2ではどこまで把握しているのか。また、内容もわかりにくいいため図書館館としてすべての利用団体、利用者に対面での説明会を開いてほしい。

(コアラ文庫)

- ・これまで本館でおはなし会を実施していなかった団体も、これから中央館で活動を始め可能性がある。そのような団体にも文書を送り、説明会を開いて皆の共通理解にしておく必要がある。
- ・以上のことと、ボランティア団体の疑問に答える機会を別途設けていただきたいという要望を、担当の係に伝えてほしい。

(つくしんぼ文庫)

- ・子どもの読書活動推進に関わる内容のため、説明会には企画運営担当2にも当事者として関わってほしい。

(事務局)

- ・説明会の要望があったことを担当に伝える。

3 意見交換

(1) (仮称) 8月の中央図書館でのおはなし会について

(2) 第15回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》について

(事務局)

(資料に沿って説明)

(もりの文庫)

- ・ほんともフェスタのスペシャルおはなし会は夏のみに変更になったと理解していたが、夏と春先（２・３月）に開催なのか。今年度は中央図書館が開館するため夏にも実施するというのか。

(事務局)

- ・事務局で検討を重ねた結果、夏だけでなく２・３月も引き続きほんともフェスタのスペシャルおはなし会を実施することとした。今年度のみでなく、今後は８月と２・３月の実施を継続する予定である。

(おはなしチャチャチャ)

- ・今年度の講演会は中央図書館開館記念イベントの一環なのか、それともほんともフェスタ内のイベントなのか。

(事務局)

- ・来年度以降はほんともフェスタでの講演会として行うが、今年は中央図書館開館記念の講演会として広報をしている。今年度２・３月の展示の際は、ほんともフェスタとしての講演会は実施しない。
- ・ほんともフェスタについて、時期を分散させて行うことに昨年度の会議でご了承いただいたため、次年度以降もほんともフェスタの講演会は７月に行う予定である。また、おはなし会も今回は会場の都合上８月に実施するが、７月でも良いと考えている。

(もりの文庫)

- ・今回のスペシャルおはなし会の照会対象団体はどのような団体か。

(事務局)

- ・枠が限られているため、現在各館でおはなし会を行っている団体とする。

(つくしんぼ文庫)

- ・中央図書館の「おはなしのへや」は、今回のような特別なイベントがなくても、おはなし会等の用途ならば図書館に申し込んで使用することができるのか。

(もりの文庫)

- ・将来的な想定として、「定例のおはなし会以外でそのときだけ特別におはなし会をする」ということがあると思う。その際に、どのような形でどこに申し込めばよい

かを決めておく必要があるのではないか。

(コアラ文庫)

- ・施設自体の管理は別の係が担当しているのかもしれないが、おはなし会は児童サービスの一環であるため、企画運営担当 2 が窓口となるのが自然だと感じる。

(事務局)

- ・持ち帰って検討する。

(布の絵本サークル ピエロ)

- ・スペシャルおはなし会を行うに当たり、「おはなしのへや」の定員がわからないので、知りたい。

(事務局)

- ・照会文発送の際に「おはなしのへや」の広さがわかるような写真も添付する。

4 連絡事項

(1) 多摩市立図書館ホームページ 団体のご紹介のページの更新について

(事務局)

(資料に沿って説明)

(布の絵本サークル ピエロ)

- ・イベント開催時、チラシの掲載や、イベントのページへのリンクを貼ることは可能か。

(事務局)

- ・内容によって対応できるかどうか検討する。

(コアラ文庫)

- ・文庫連だよりの PDF を掲載することは可能か。他の団体でも定期的に発行しているものあれば、それらも掲載できたらよい。

(事務局)

- ・リンクを貼る際のルールがあるので、確認する。

次回の日程

10月26日（木）13時30分～（会場は今後調整）

（コアラ文庫）

- ・「多摩市に中央図書館をつくる会ニュース」を配付

（文庫連絡協議会）

- ・「文庫連だより」を配付

閉会

（午前11時30分終了）